

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール部門 要項

1 目的

中学校技術・家庭科で学習した「ものづくり」の成果を発表することにより、ものを創る喜びを味わう機会とするとともに、知識や技能の向上を図る。

2 審査日 平成30年11月15日(木)

3 審査場所 静岡大学教育学部 ※会場の詳細は後日ご連絡いたします。

4 競技内容

(1) 各校にて製作し、提出された作品を審査する。

(2) 作品提出 平成30年10月26日(金) (当日の持ち込みも可能)

学校ごとに作品と別紙製作レポート(全国大会の形式2枚)を直接下記提出先に送付する。送料は学校負担とする。各校の出点数は5点程度までとする。

<提出先>

御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校家庭科 中野 夏芽
住所 〒421-0533 牧之原市新庄800-1 Tel : 0548-58-0223

(3) 審査

審査項目は、全国中学生創造ものづくり教育フェアに準ずる。

(全日本技術・家庭科研究会 HP「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール実施要項 ajgika.ne.jp 参照)

審査結果は後日提出校へ連絡する。

(4) 表彰

上位優勝者2名は東海・北陸地区大会に静岡県代表として出場する。

大会参加者には賞状を与える。※ただし、基準を満たしていない作品は参加賞。

(5) その他

・審査終了後、作品は返却する。返却料は事務局負担とする。

・審査は静岡大学教育学部担当教官、静岡教研技術・家庭科教育研究部役員が行う。

※製作上の留意点(全国中学生創造ものづくり教育フェアのものに準ずる)

①使用する布の合計面積は110cm×50～100cmとする。使用する布は複数種類使ってもよい。古着を布として使用することは可能だが、古着についているポケットやファスナー、ボタン等の部分をそのまま使用することは認めない。

②『バッグ』について

・裏地は付けずに、一重仕立てとする。(縫い目審査を行うため。)

・立体構成にする

・『バッグ』の口がふさがるようにする。(中身のでない工夫をする)

③デザインの工夫は『バッグ』本体とする。

・裁断後の残布の量をできるだけ少なくする工夫を入れる。布目方向は丈夫さなどを考慮する。(布目方向が異なるパーツもあってよい)

・入れるもの使用目的に合わせた布選びや、強度が耐えうる縫い目および縫い代の始末をする。

④ポケットは必ず『バッグ』本体に付ける。

(ポケットのうち必ず1つは、ポケット口は三つ折りにし、手でまつり縫いをする)

※貼り付けポケットを必ず一つつけること。

⑤スナップは1つ以上付ける。(ボタンを付けることは可能)

<問い合わせ先>

御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校：中野 夏芽(家庭科)

住所：〒421-0533 牧之原市新庄800-1

Tel : 0548-58-0223 Fax : 0548-58-0313